

抗パーキンソン病薬の切り替え方法

-内服薬から注射薬・当院採用薬への切り替え-

抗パーキンソン病薬の採用薬一覧を改訂しました。アジレクトやエクフィナ等の新規薬剤を追加し、入院時の持参薬から当院採用薬への切り替えおよび内服困難時の注射薬への切り替えの目安をまとめました。

【内服困難時の経口レボドパ製剤から注射剤への切り替え方法】

<基本>

- ドパストン注に切り替えます。
- 内服薬のレボドパ換算量の等量～半量を目安にします。
- 注射投与回数は可能な限り内服回数に合わせます。

レボドパ換算時の注意点

- 基本はレボドパ製剤のみで換算します。
- COMT 阻害薬エンタカポンは同時服用する各回のレボドパ製剤を 1.33 倍換算とします。
- COMT 阻害薬オンジェンティスは効果が 1 日継続するため、1 日総量のレボドパ製剤を 1.5 倍換算とします。
- 複数の抗パーキンソン病薬を最大量近く併用している場合は、レボドパ換算量を参考にした上で投与量を調整します。
- ドパミン受容体作動薬は貼付剤へ切り替えます。貼付剤を使用せずに、注射剤へ切り替える場合は、ニュープロパッチ 27mg・ハルロピテープ 48mg 相当以上の場合のみ、レボドパ換算量に加算します。

切り替え例

処方・カルコーパ配合 L100 錠 3 錠分 3 (レボドパ 300mg)
・オンジェンティス錠 25mg 1 錠分 1 (上記レボドパを 0.5 倍加算)

レボドパ換算量の合計 450mg

→ドパストン注射液 25mg 9A～18A (225mg～450mg) / 日 (3 回に分割投与)

【入院時における持参薬から院内採用薬への切り替え】

院内採用薬を一部変更しています。(次ページ参照)

入院時の持参薬からの切り替えについては別表をマイツール医薬品集に掲載していますので、必要時にご参照ください。

ー今月号の目次ー

<今月のトピック>

抗パーキンソン病薬の換算 -内服から注射への切替、当院採用薬への切替- P1

抗パーキンソン病薬の採用薬一覧 P2-3

<D I 情報> P4

DI 情報

【副作用報告】

今年度より DI 委員会での報告が 2 ヶ月毎（奇数月）となったため、6 月報告はありません。

【気になる事例の紹介 ～プレアボイド報告より～】 DI 委員会 6 月報告より

薬剤名	経過・内容
ダーブロック	脳梗塞で入院。以前よりダーブロック服用しており再開処方あり。Hb : 11.2。 約 20 日前に増量しており増量前の Hb : 8.7。 →脳梗塞既往があること、急激な Hb 上昇（4 週以内に 2g/dL 超）があることから、 ダーブロックの血栓塞栓リスクを考慮し減量または中止を提案。中止となった。
炭酸ランタン カルタン	炭酸ランタン、カルタンの処方あり。食止め中。 →両剤とも腸管からの P 吸収を抑制する薬剤であり、食止め中は効果が期待できないこ とから医師に相談し中止となった。
リクシアナ エフィエント バイアスピリン	PCI 後でバイアスピリン、エフィエント併用中の方に、リクシアナ開始処方あり。 →ガイドラインによると 3 剤併用（DAPT+DOAC）期間は短いため、併用期間を医師に確認。 バイアスピリンは入院中のみ継続、エフィエントは 1 ヶ月継続、その後はリクシアナの み継続と確認。退院時に患者へ説明し、お薬手帳にて薬局にも情報共有した。
チラーヂン S フェロミア	鉄欠乏性貧血にてフェロミア（朝食後）処方開始。以前よりチラーヂン S（朝食後）服用 中。 →同時服用にてチラーヂン S の吸収が低下するため、服用間隔を空ける必要があること から医師に相談し、フェロミアは夕食後へ変更となった。 ※チラーヂン S は、金属類（カルシウム、アルミニウム等）と同時服用すると吸収低下 がおこるため、4 時間以上間隔をあけることが推奨されている。炭酸ランタンと鉄剤に ついては、2 時間以上の間隔でよいとの個別報告がある。（メーカーからの情報による）

【採用薬変更のお知らせ】（県連薬事委員会 6 月報告より）

- 販売中止に伴う採用医薬品削除
 - ・AZ 点眼液 0.02%（非ステロイド性・抗炎症点眼剤：ゼリア新薬工業）94.8 円/本
- 出荷停止に伴う採用医薬品臨時追加
 - ・テルビナフィン塩酸塩クリーム 1%「トーフ」（アリルアミン系抗真菌剤：東和薬品）108 円/本
- 採用医薬品の規格追加
 - ・メロペネム点滴静注用 1g「NP」（カルバペネム系抗生物質製剤：ニプロ）1095 円/V
 - ・セフメタゾール Na 静注用 2g「NP」（セファマイシン系抗生物質製剤：ニプロ）804 円/V
 - ・セフメタゾールナトリウム点滴静注用バッグ 1g「NP」（セファマイシン系抗生物質製剤：ニプロ）1030 円/V
- 新規試用申請
 - ＜協同・小児科、熊谷＞
 - ・ネフィー点鼻液 1mg/2mg（アナフィラキシー補助治療剤：アルフレッサファーマ）22975.3 円/1mg 個
- 販売中止に伴う試用取消
 - ＜協同・呼吸器科＞
 - ・キューバル 100 エアゾール（吸入ステロイド喘息治療剤：大日本住友製薬）1485.4 円/本

情報の提供・お問い合わせは、埼玉協同病院・ふれあい生協病院 薬剤科 DI 室
（代表）0570-00-4771 ままでどうぞ

担当 寺倉・中村・木村・若林